

1. 研究課題名

MGRS に関する研究

2. 試料・情報

(1) 利用目的

MGRS (monoclonal gammopathy of renal significance ; 腎臓病を合併した単クローン性免疫グロブリン血症) はモノクローナル蛋白という異常な蛋白質が原因で腎障害を引き起こす、多発性骨髄腫の類縁疾患です。時に重度の腎不全を起こすこともある予後不良の疾患ですが、比較的最近になって提唱された概念ということもあり、臨床・疫学的な特徴については詳しくは分かっていません。本疾患の類縁疾患である多発性骨髄腫についてはここ 10 年ほどで研究が進み、複数の新薬が登場したことで生存率は飛躍的に改善しましたが、MGRS については標準的治療が定まっていないのが現状です。

本研究では、当院に受診された MGRS の患者さんのデータを調査することで MGRS の診療の実態を明らかにし、その臨床的特徴や治療、予後について検討を行います。本研究により今後の MGRS の診療及び治療の一助とすることが最終的な目標です。

研究機関は承認日～2030 年 3 月 31 日を予定しています。

(2) 利用項目、提供方法

本研究は 2010 年 1 月から 2025 年 3 月の期間に、当院に受診された MGRS の成人患者さんの診療記録を利用して行います。利用する情報は、初発時の年齢、性別、血液・尿・骨髄などの検体検査結果、CT・MRI などの画像検査結果、腎生検などの病理診断結果などです。特にモノクローナル蛋白のタイプ、MGRS による腎障害の程度、現病の進行度、最終観察日、腎機能予後、生命予後など) に着目します。利用を開始するのは本研究が承認された日以降となります。

(3) 利用する者の範囲

日本赤十字社医療センター 血液内科 医師 小倉瑞生 (研究責任者)

(4) 管理責任を有する者の名称

日本赤十字社医療センター

3. 参加を希望されない場合等

本研究への参加を希望されない場合や本研究参加についてのご相談がある場合は、以下へご連絡ください。本研究への参加を希望されない場合でも、不利益を被ることはありません。

4. 問い合わせ先

日本赤十字社医療センター

〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22

TEL : 03-3400-1311 FAX : 03-3409-1604

担当 : 血液内科 小倉瑞生